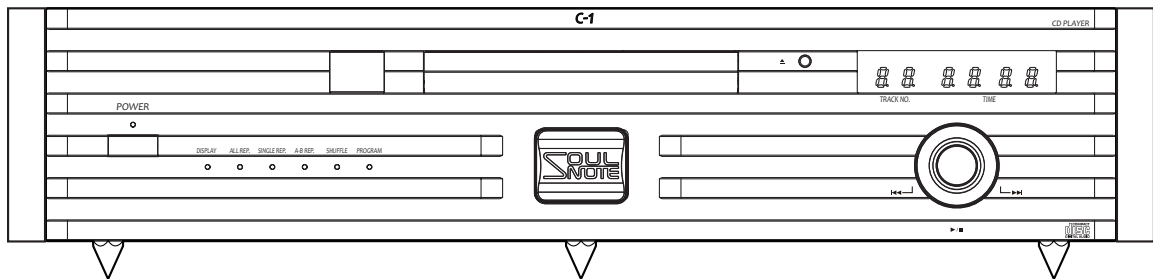


# C-1H 取扱説明書

## CD PLAYER



ご購入いただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは大切に保存してください。

なお、ご購入いただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店へお問い合わせください。

## 目 次

安全上のご注意 .....	3
ディスクについて .....	6
ディスクの挿入 .....	7
前面パネルの名称とはたらき .....	8
後面パネルの名称とはたらき .....	9
リモコンのボタン名称とはたらき .....	10
操作のしかた .....	11
リモコンについて .....	14
DISPLAYボタン (リモコン) について .....	15
バランス入出力端子について .....	16
スパイクピンの取り付けについて .....	16
エージングについて .....	17
故障とお考えになる前に .....	17
お手入れ .....	17
規 格 .....	17
音楽鑑賞のエチケット .....	18

### \*付属品






• 取扱説明書 (本書) .....	1	• リモコン .....	1
• 電源ケーブル .....	1	• 単四乾電池 .....	2
• スパイクピン .....	3		









# 安全上のご注意

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共にならず保管してください。









## — 絵表示について —

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘	記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。
	△	記号は注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

 <b>警告</b>	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。</li> </ul>
	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> <li>● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示された電源電圧（交流220ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> <li>● 船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。</li> <li>● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</li> </ul>
 <p>水場での使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>

## ! 警告

 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の開口部をふさがしないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。</li> <li>・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。</li> <li>・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。</li> </ul> </li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</li> <li>● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</li> <li>● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の上にもろそくなどの炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されています。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW(容量)を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。</li> </ul>

## ! 注意

 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</li> <li>● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</li> <li>● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。</li> <li>● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。</li> <li>● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</li> </ul>
--	--

## ⚠ 注意

 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。</li> <li>● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス-端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス-の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池収納部についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）にしたがって処理してください。</li> </ul>	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> <li>● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</li> <li>● この機器の上にテレビやオーディオ機器などをのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</li> <li>● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>	 <p>高温注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</li> </ul>

# ディスクについて

## 1. 再生できるディスクの種類

本製品で、再生可能なディスクは音楽用CD規格で記録されたCD、CD-R<sup>\*1</sup>、CD-RW<sup>\*1</sup>です。

本機で再生できるCDは、右のマークがついているものです。

それ以外の規格(mp3/WMA方式等の圧縮データ)に基づいたディスクには対応していません。

※1 CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、記録の状態により再生できない場合があります。



## 2. コピーコントロールCDについて

本製品は音楽用CD規格に基づいたディスクにのみ対応した設計となっており、その規格に適合しないディスクの動作/性能の保証は致しかねます。また、コピーコントロールCDに関するお問い合わせは、そのディスクの発売元にお問い合わせください。

## 3. ディスクを入れるときの注意

- ハート型、名刺型または八角形などの特殊形状をしたディスクは使用しないでください。



- ディスク自体の二枚重ね、ディスクと他の素材を重ねた状態での使用はしないでください。
- ラベル等の貼り付けられたディスク、はがした痕があるディスクは使用しないでください。



- 過度の傷・汚れのついたディスクは使用しないでください。

これらを使用した場合、ディスクが取り出せなくなったり、本製品の故障の原因となることがあり、ディスク自体を破損する恐れがあります。

## 4. 取扱上の注意

記録面に傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

変質や塗料がはがれる原因となるので、クリーナー液やアルコールなどで拭かないでください。

ご使用後は、かならずディスクを取り出し、ほこり、傷、変形などを避けるため、かならずケースに入れてください。


## 5. 保管時の注意

直射日光が当たるところや暖房器具近く、湿気、ほこりなどが多いところに保管しないでください。

# ディスクの挿入

## 1. ディスクトレイの開閉

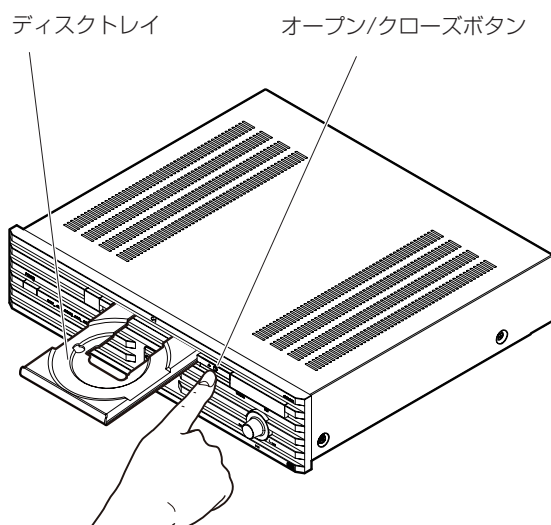
① 電源を入れます。

※ディスクが挿入されていないときは、トラック表示に  が表示されます。

② オープン/クローズボタンを押します。

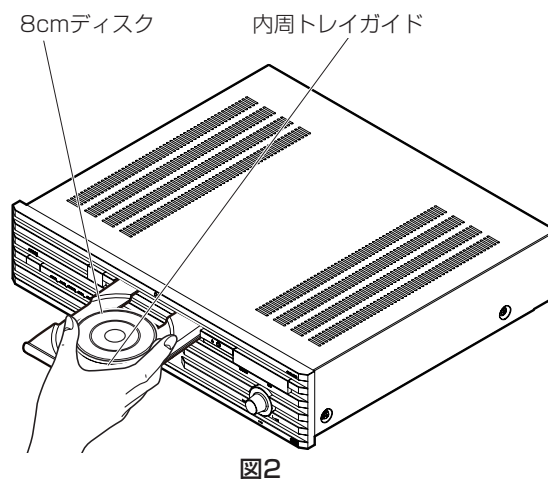
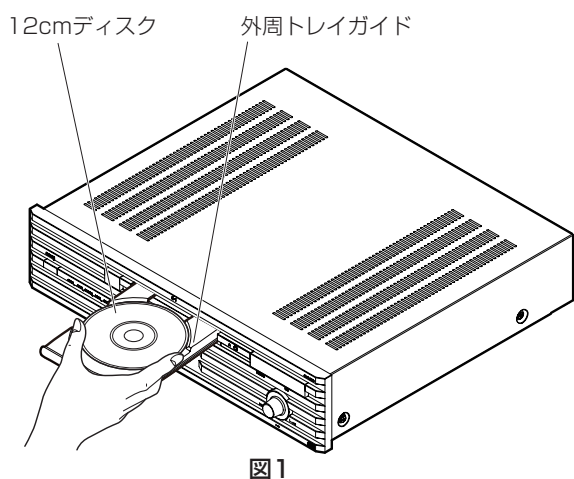
### ご注意

ディスクトレイを開閉するときは、かならず電源を入れてください。

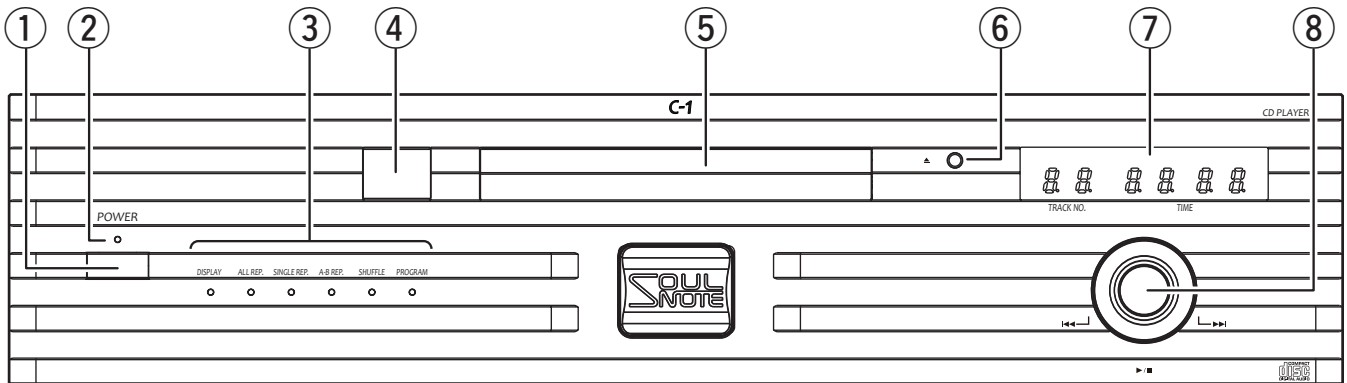


## 2. ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平にのせてください。
- オープン/クローズボタンを押すと、ディスクは自動的に挿入されます。
- ディスクが挿入されると、ディスクの全トラック数と全時間が表示されます。
- ディスクトレイは、ディスクトレイ自体を軽く押して閉めることもできます。本体ジョグダイヤルの操作または、リモコンの再生ボタン、ポーズボタン、数字ボタン、トラックジャンプボタンを押すと自動的にディスクトレイが閉まります。



## 前面パネルの名称とはたらき



### ① 電源スイッチ (POWER)

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

### ② 電源インジケータ (POWER)

電源が入ると、赤色に点灯します。

### ③ モードインジケータ

再生や表示に関するモードを点灯表示します。

DISPLAY : 表示部が消灯しているときに赤色に点灯します。通常再生のときに表示部を消灯させると、暗く点灯します。詳しくはp.15の『DISPLAYボタン(リモコン)について』をご覧ください。

ALL REP. : 全曲リピート再生のときに赤色に点灯します。

SINGLE REP. : 1曲リピート再生のときに赤色に点灯します。

A-B REP. : A-Bリピート再生のときに赤色に点灯します。

SHUFFLE : シャッフル再生のときに赤色に点灯します。

PROGRAM : プログラム再生のときに赤色に点灯します。

### ④ リモコン受光部

リモコンからの赤外線信号を受信します。

### ⑤ ディスクトレイ

再生ディスクを置くトレイです。ディスクのレーベル(印刷)面を上にして載せてください。

### ⑥ オープン/クローズボタン (▲)

押すとディスクトレイの出し入れができます。

### ⑦ 表示部

トラック情報、時間情報、を表示します。



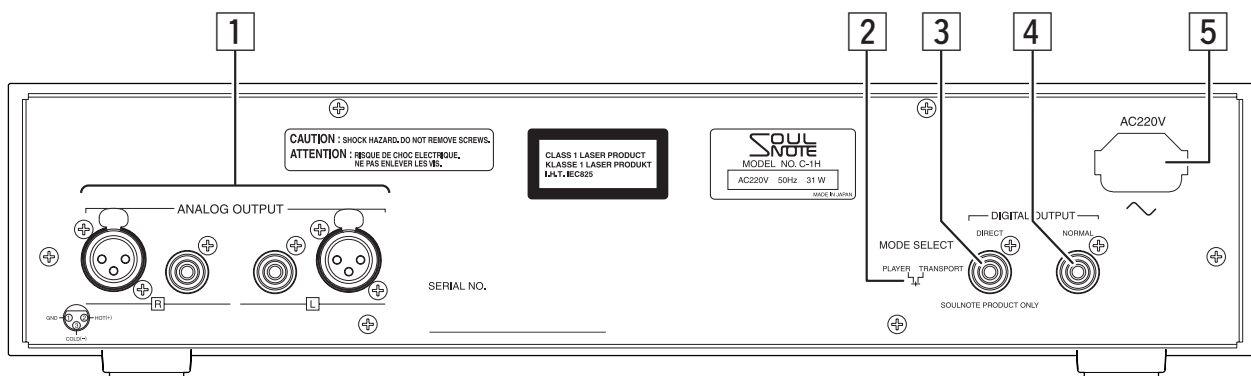
表示の詳細はp.11~p.13を参照してください。  
※消灯モード中でも、操作時は一時的に表示します。

### ⑧ ジョグダイヤル (▶/■, ◀◀, ▶▶)

- 押すとCDの再生を開始します。CD再生中に押すと、再生が停止します。
- 反時計方向に1クリック回すと曲の最初に戻ります。さらに回すと前の曲に戻ります。時計方向に1クリック回すと次の曲に進みます。押しながら回すと、1クリックで3曲ずつ戻したり進めたりできます。



## 後面パネルの名称とはたらき



### 1 アナログ出力端子 (OUTPUT)

※トランスポートモードでは出力されません。  
アンプのライン入力端子と接続します。

- アンバランス出力端子  
アンバランス (不平衡) 入力の端子と接続します。
- バランス出力端子  
XLRコネクターを使用したバランス (平衡) 入力の端子と接続します。

### 2 モード選択スイッチ (MODE)

トランスポートモードとプレーヤーモードを選択するスイッチです。

#### ご注意

- モードが切り替わるまで、5秒程度かかります。

### 3 デジタル出力端子 (DIRECT)

※プレーヤーモードでは出力されません。

パルストランスレスで、より高品質なPCM 2チャンネル (ステレオ) S/PDIFフォーマットのデジタル信号を出力します。75Ω同軸ケーブルを使用して、デジタル入力のあるSOULNOTE製品を接続します。

※SOULNOTE製品以外の機器に接続すると、正しく動作しない場合やノイズの原因になる場合があります。

#### ご注意

- 出力端子にケーブルを接続する場合は、かならず電源を切った状態で接続してください。

### 4 デジタル出力端子 (NORMAL)

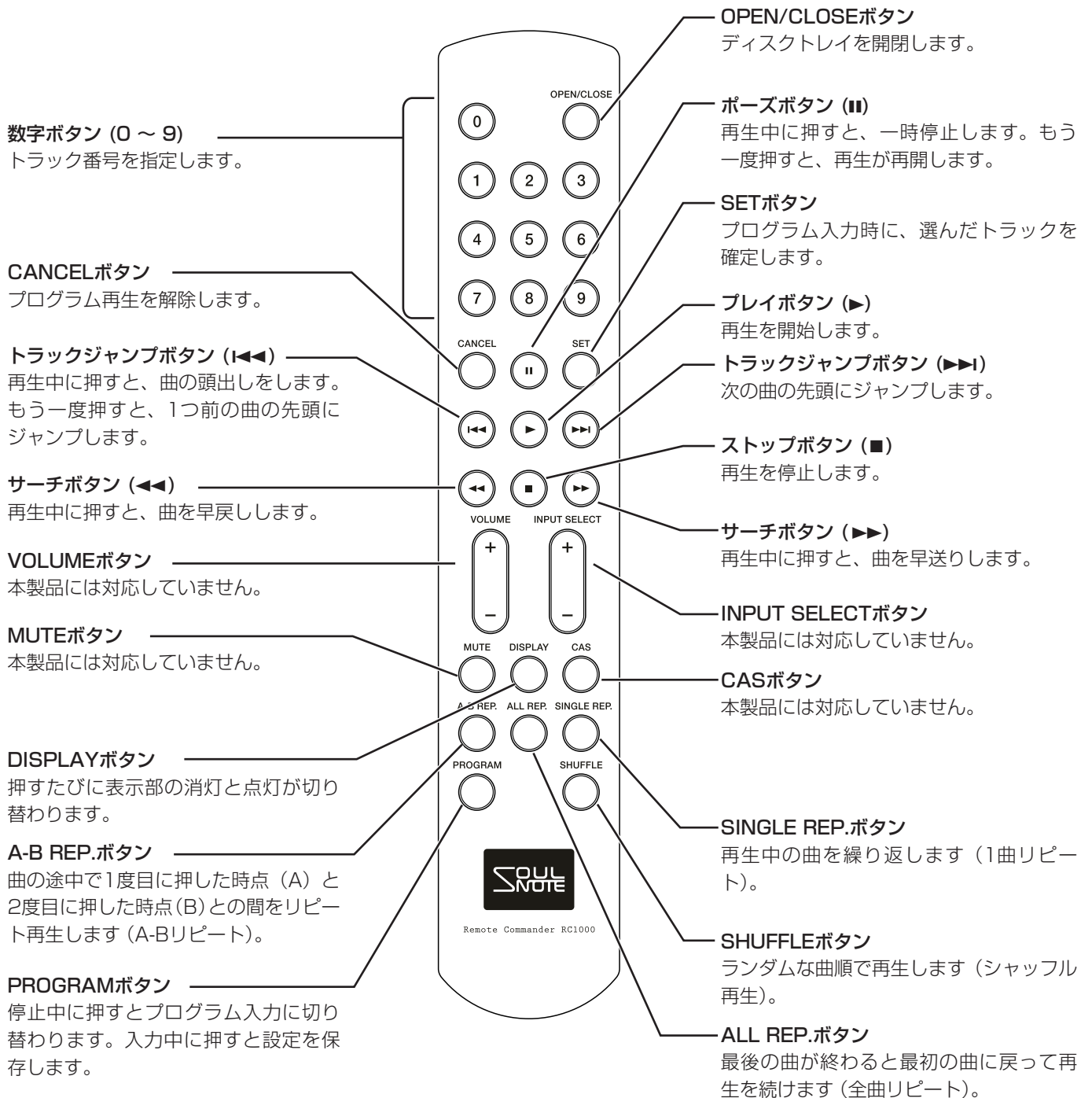
※プレーヤーモードでは出力されません。

PCM 2チャンネル (ステレオ) S/PDIFフォーマットのデジタル信号を出力します。75Ω同軸ケーブルを使用して、デジタル入力のある外部機器を接続します。






### 5 ACインレット (AC220V)

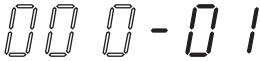
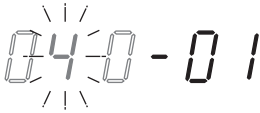
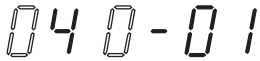
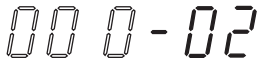
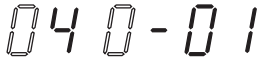

付属の電源ケーブルを取り付けて、AC220Vのコンセントに接続します。


# リモコンのボタン名称とはたらき



## 操作のしかた

操作	本 体	リモコン
電源を入れる	電源スイッチ (前面パネル ①) を押します。	リモコンでは操作できません。
ディスクを挿入する	オープン/クローズボタン (前面パネル ⑥) を押してディスクトレイを開け、ディスクを載せます。もう一度押すと、ディスクトレイが閉じます。	OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを載せます。もう一度押すと、ディスクトレイが閉じます。
	TOC (Table of Contents) 読み込み中は、トラック表示に“00”が点滅表示されます。	
		
	TOC読み込み終了後、全トラック数と総再生時間が表示されます。	
		
再生する	ジョグダイヤル (前面パネル ⑧) を押します。	プレイボタン (▶) を押します。
	再生中のトラック番号と経過時間が表示されます。	
		
再生を一時停止する	本体では操作できません。	ポーズボタン (⏸) を押します。
	一時停止中のトラック番号と経過時間が点滅表示されます。	
		
再生を停止する	ジョグダイヤル (前面パネル ⑧) を押します。	ストップボタン (■) を押します。
	全トラック数と総再生時間が表示されます。	
		
曲を選ぶ	ジョグダイヤル (前面パネル ⑧) を回します。	トラックジャンプボタン (⏮⏪⏩⏭) または数字ボタン (0~9) を押します。
再生を早送りまたは早戻しする	本体では操作できません。	再生中にサーチボタン (⏮⏭) を押します。

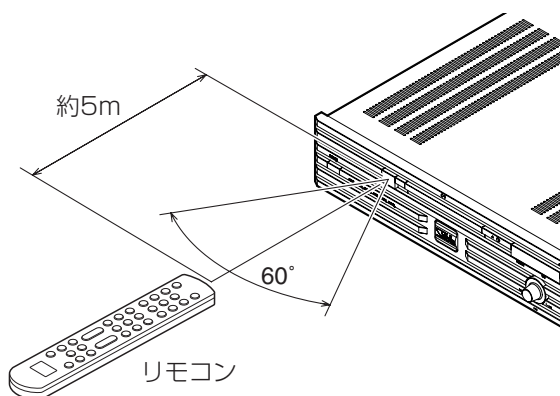
操作	本 体	リモコン
曲順をプログラムして再生する	再生以外は本体では操作できません。	停止中にPROGRAMボタンを押します。
	Programインジケーターが点滅し、曲順が点灯表示されます。 	
	トラックジャンプボタン (◀▶) または数字ボタン (0~9) を押して曲を選ぶと、トラック番号が点滅表示されます。 	
	SETボタンを押すと選曲が確定し、トラック番号が点灯表示されます。 	
	その後、次の曲順が点灯表示されます。続けて選曲と確定を繰り返します。 	
	SETボタンを押さないと選曲は確定せず、次の曲順には進みません。 最大で曲順48まで設定できます。	
	CANCELボタンを押すと、1つ前の曲順に戻ります。	
	PROGRAMボタンを押すと、設定が保存されます。また、Programインジケーターが点灯します。 ジョグダイヤル (前面パネル ⑧) またはプレイボタン (▶) を押すと、プログラムの最初のトラックの番号と曲順が表示され、再生が始まります。その後、経過時間表示に戻ります。  ▼ 	
停止中にCANCELボタンを長押しすると、プログラム再生が解除され、曲順の設定がすべて消去されます。また、Programインジケーターは消灯します。		
曲の途中区間をリピート再生する	本体では操作できません。	再生中にA-B REP.ボタンを押します。
	A-B Rep.インジケーターが点滅します。	
	A-B REP.ボタンをもう一度押すと、A-B間リピートが始まります。再生中はA-B Rep.インジケーターが点灯します。 A-B REP.ボタンをもう一度押すと、A-B間リピート再生が解除され、ボタンを押した時点から通常の再生を再開します。また、A-B Rep.インジケーターは消灯します。	
全曲を繰り返し再生する	本体では操作できません。 全曲リピート中はAll Rep.インジケーターが点灯します。	再生中にALL REP.ボタンを押します。 もう一度押すと、全曲リピートが解除されます。
1曲を繰り返し再生する	本体では操作できません。 1曲リピート中はSingle Rep.インジケーターが点灯します。	再生中にSINGLE REP.ボタンを押します。 もう一度押すと、1曲リピートが解除されます。
ランダムに再生する	本体では操作できません。 シャッフル再生中はShuffleインジケーターが点灯します。	再生中にSHUFFLEボタンを押します。 もう一度押すと、シャッフル再生が解除されます。

操作	本 体	リモコン
ディスクを取り出す	オープン/クローズボタン (前面パネル ⑥) を押してディスクトレイを開け、ディスクを取ります。	OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取ります。
	トラック表示には“00”が点灯し、時間表示は消灯します。 	
電源を切る	電源スイッチ (前面パネル ①) を押します。	リモコンでは操作できません。

エラー表示	ディスク自体の読み取りができないとき	電源インジケータが点滅し、トラック表示には“00”が点灯し、時間表示は消灯します。 この表示状態になったときは、そのディスクの使用を中止してください。この状態のときはオープン/クローズボタンの操作はできません。ディスクを交換すれば、そのままご使用になれます。
	ディスクの途中で読み取りができないとき	再生音が途切れて電源インジケータが点滅し、トラック表示には“00”が点灯し、時間表示は消灯します。 この表示状態になったときは、そのディスクの使用を中止してください。この状態のときはオープン/クローズボタンの操作はできません。ディスクを交換すれば、そのままご使用になれます。

## リモコンについて

### ■ 操作するときは

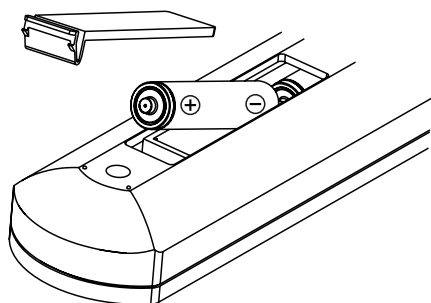


本体前面から約5m以内、受光部に対し60°以内の位置で操作してください。

- リモコン受光部には強い光を当てないでください。
- リモコンと受光部の間に物を置かないでください。
- ほかの機器のリモコンと同時に使わないでください。

### ■ 電池を交換するには

リモコンの裏ぶたを外し、乾電池収納部の表示にしたがって単四形乾電池 2本を入れてください。電池を入れたあとは裏ぶたを元通りに取り付けてください。



### 乾電池についてのご注意

- リモコンには単四形乾電池をご使用ください。
- リモコンの乾電池は約1年ごとに新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本製品の近くで操作して本製品が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、乾電池収納部の表示通りに+側・-側を入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。また、異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池をショートさせたり、分解・加熱したり、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れが起こったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった乾電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示(条例等)に従って処理してください。

## DISPLAYボタン(リモコン) について

本製品は、リモコンのDISPLAYボタンを押すことで表示部を消灯できます。消灯したときには、Displayインジケータが赤色に点灯します。

表示部を消灯することにより本製品内部のノイズを低減できるため、音声信号の質を高めることができます。

また、通常再生の際にこの消灯機能を使用すると、Displayインジケータが暗く点灯します。

このとき、本製品内部の音声用以外のデータ通信が停止してノイズがさらに削減されるため、最も質の高い音声信号を出力できる状態となります。

- 暗点灯時にリモコン等の操作があった場合、若干レスポンスが遅くなる場合があります。
- 暗点灯時は、CDの再生動作を自動停止できません。最終トラックの再生が終わっても一時停止の状態となり、Discが回り続けますので、手動で停止の操作を行ってください。なお、表示部を再度点灯させることでも停止ができます。
- リピートを伴う再生、シャッフル再生、またはプログラム再生の際は、Displayインジケータは暗点灯にはなりません。

## バランス入出力端子について

バランス入出力端子にはXLRコネクタを使用しています。コネクタの接続方法は、タイプが二通りあります。

本機では、①のヨーロッパ方式を採用しています。XLRコネクタケーブルを使用する場合、USA方式を採用している機器に接続する場合、信号が逆位相になります。その場合は、片側のXLRコネクタの②ピンと③ピンをヨーロッパ方式となるようにつなぎ換えてください。

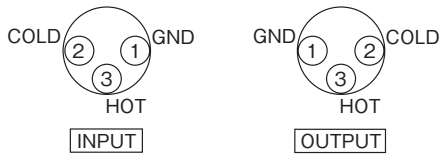
### ① ヨーロッパ方式 ※本機採用

(②ピン=HOT ③ピン=COLD)



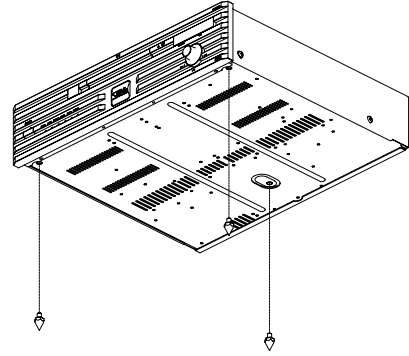
### ② USA方式

(②ピン=COLD ③ピン=HOT)



## スパイクピンの取り付けについて

本機の足を外し、付属のスパイクピンに交換することで、音質をチューニングできます。点接地にすると、フォーカス、音像定位がよりシャープになります。また、設置する面の材質により微妙に音質をチューニングすることができます。



### ⚠ 注意

- スパイクピンを使用する際には、けが等に十分に気をつけてください。
- 設置面のテーブル・棚等の表面に傷が生じることがあります。



## エージングについて

スピーカーシステムをはじめとして音響製品は一般的にエージングが必要です。

特に本機は高音質パーツを多く使用しているため、本来の音質を得るためには、エージングが必要となります。

本機は、十分なエージングを実施した上で、出荷されておりますので、最良の音質でお楽しみいただけますが、ご使用いただくにしたいがい、よりハイプレゼンスな再生音をご提供いたします。

## 故障とお考えになる前に

### \*音が出ない

- 電源は入っていますか？
- 外部機器は正しく接続されていますか？
- 外部機器の電源は入っていますか？
- 外部機器の操作や設定は適切ですか？

### \*CDが正しく再生できない

- 傷付いたディスクを使用していませんか？
- 規格外のディスクを使用していませんか？
- 音楽用CD規格で記録されていないCD-RやCD-RWを使用していませんか？

### \*リモコンでの操作ができない

- リモコンの電池が消耗していませんか？
- リモコンが離れ過ぎていたり、本製品との間に障害物があつたりしていませんか？

## お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭きとったあと、乾いた布でから拭きしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変色・変質する場合がありますのでご注意ください。

### \*ヒューズの交換

万一、ヒューズが切れた場合は、お買い求めの販売店、またはCSRカスタマーサポートへご連絡ください。

## 規格

### アナログ出力

バランス1系統.....出力レベル5.0V  
(適合負荷インピーダンス5kΩ以上)

アンバランス1系統.....出力レベル2.5V  
(適合負荷インピーダンス5kΩ以上)

周波数特性.....8Hz~20kHz (±0.3dB)

S/N比.....100dB

ダイナミックレンジ.....96dB

全高調波歪率.....0.0022%

チャンネルセパレーション.....98dB

デジタルフィルター.....24bit 8倍オーバーサンプリング

アナログフィルター.....3次パッシブ型

### デジタル出力

ダイレクト.....0.5Vp-p/75Ω

ノーマル.....0.5Vp-p/75Ω

電源電圧.....AC220V 50Hz

消費電力.....31W

### 最大外形寸法

本体.....456(W)×109(H)×393(D)

### 質量

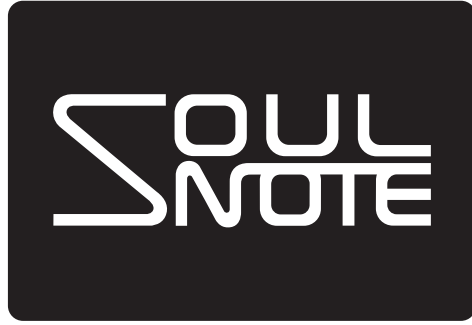
本体.....10.0kg

## 音楽鑑賞のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。  
隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。  
音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。  
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。  
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。







株式会社 **CSR**

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号